

ケアプランデータ連携システム効果測定アンケートの集計結果について

1. アンケート概要

(1) アンケート名

ケアプランデータ連携システム効果測定アンケート

(2) アンケート実施時期

令和7年11月17日(月)～令和8年2月27日(金)

(3) アンケートの目的

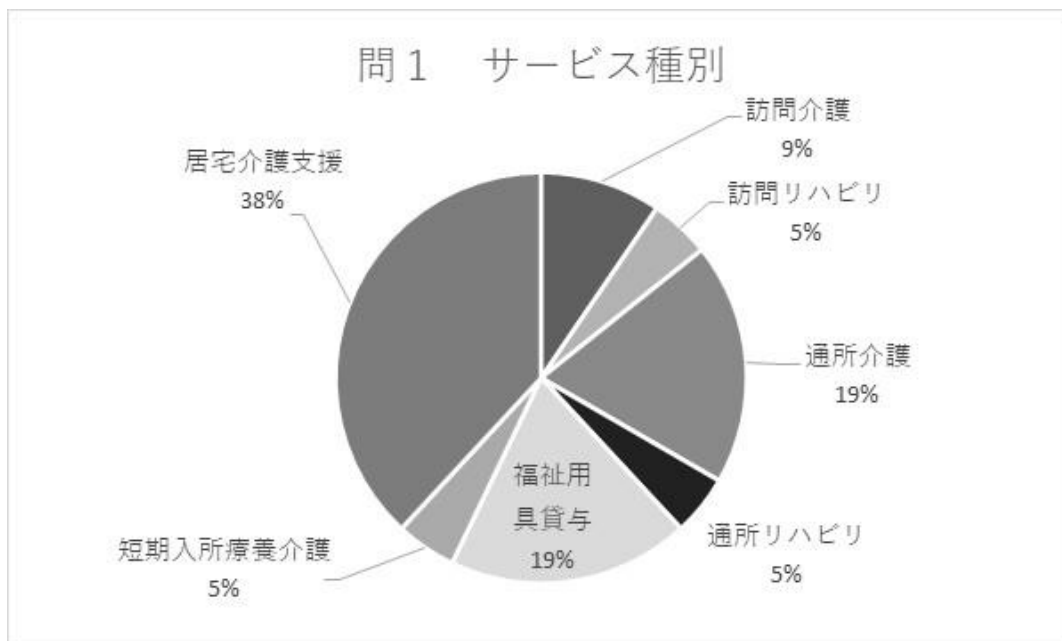
ケアプランデータ連携システム利用による業務負担軽減や連携の実態を把握し、システムの普及促進および今後の支援策検討に活用すること

(4) アンケート回答数 21件

2. アンケート結果

問1 ケアプランデータ連携システムを導入している事業所のサービス種別を選択してください

サービス種別	回答件数
訪問介護	2
訪問リハビリ	1
通所介護	4
通所リハビリ	1
福祉用具貸与	4
短期入所療養介護	1
居宅介護支援	8



問2 ケアプランデータ連携システムを導入した目的を教えてください。(該当するものをすべて選択してください)

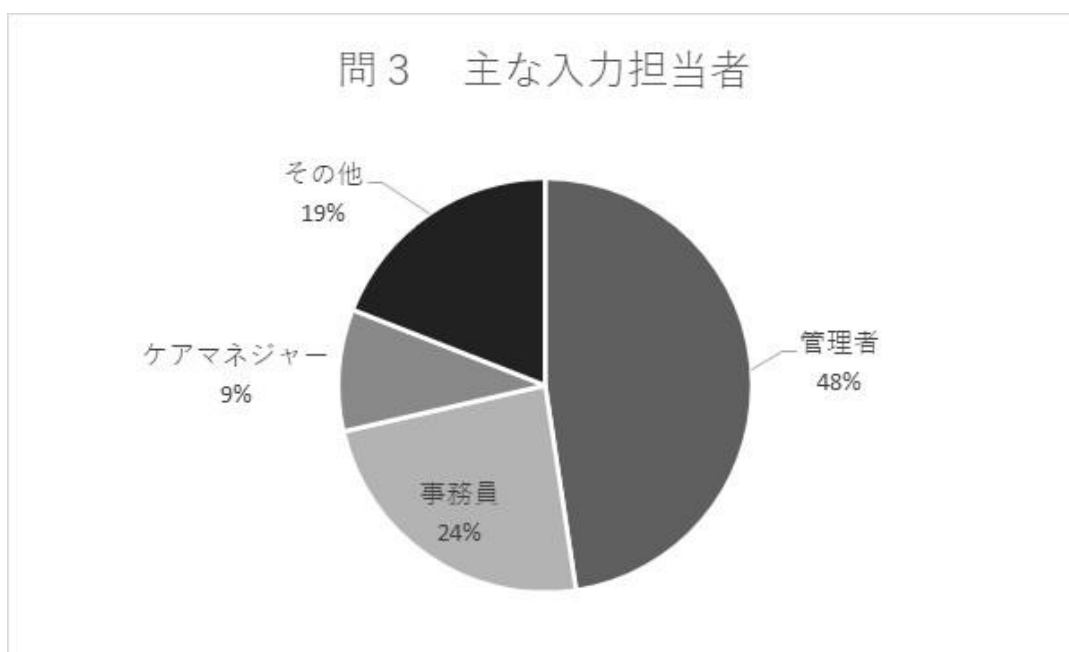
回答	回答件数
業務効率化	15
情報共有の改善	11
人的ミスの削減(転記ミス等)	8
コスト削減(事務コスト等)	15
ケアプラン作成の質向上	3
その他	5

その他の内訳

居宅・包括からの依頼
ケアマネジャー担当件数要件を満たすため
いずれシステム導入が必須となる為、システム内容に早めに慣れておく必要がある
処遇改善加算の取得
業界全体普及のため

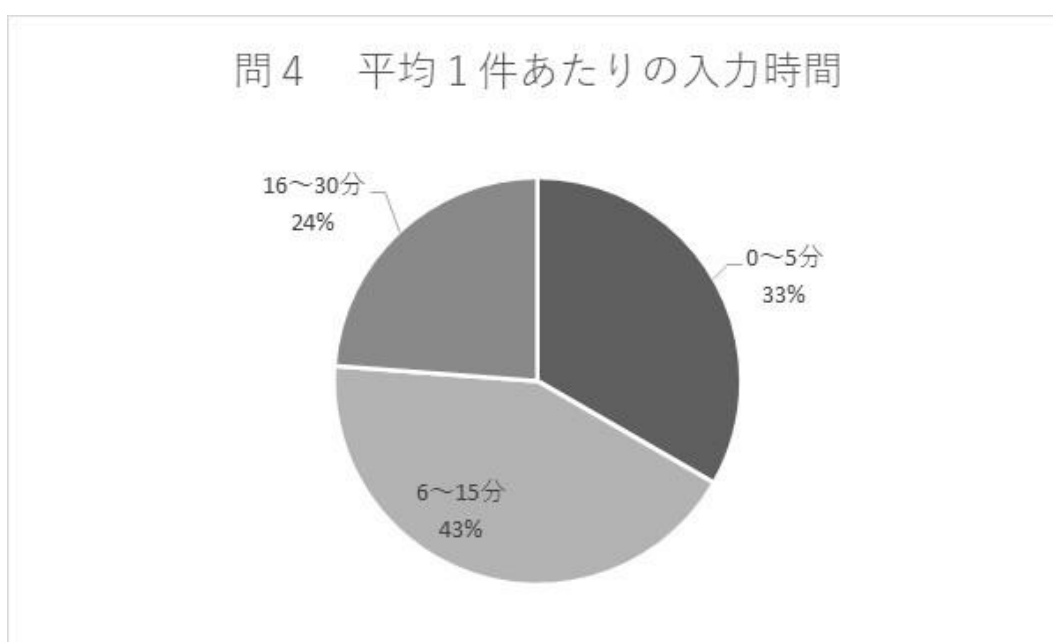
問3 本システムの主な入力担当者を選んでください。(最も多く入力している職種を1つ選択)

回答	回答件数
管理者	10
事務員	5
ケアマネジャー	2
その他(支援相談員など)	4



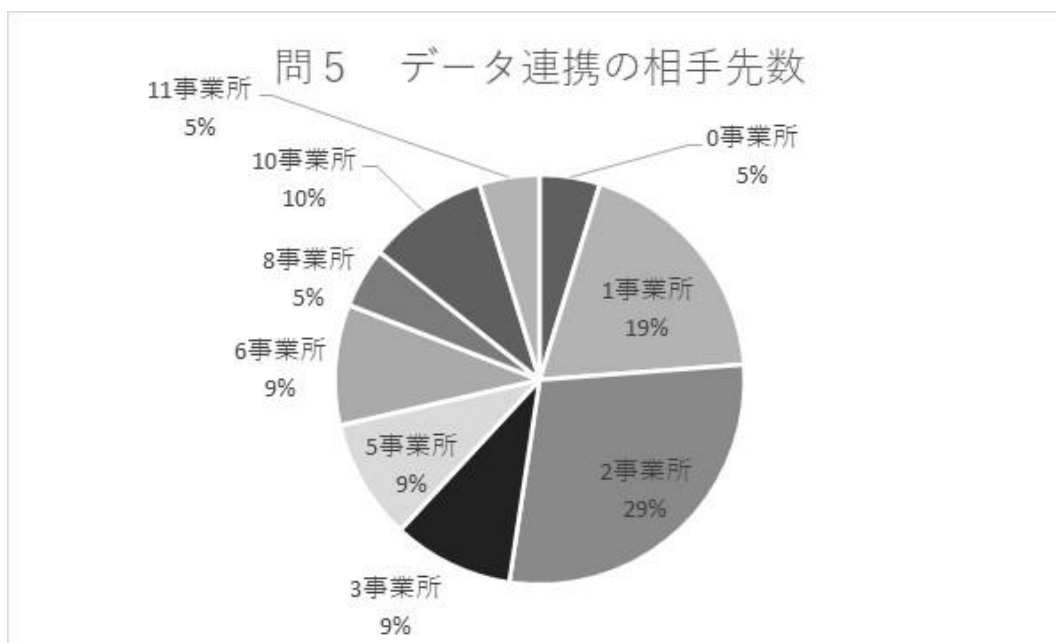
問4 ケアプランデータ連携システムの入力において 1 件あたりの平均入力時間(目安)を最も近いものから選んでください。※感覚値で結構です

回答	回答件数
0～5分	7
6～15分	9
16～30分	5



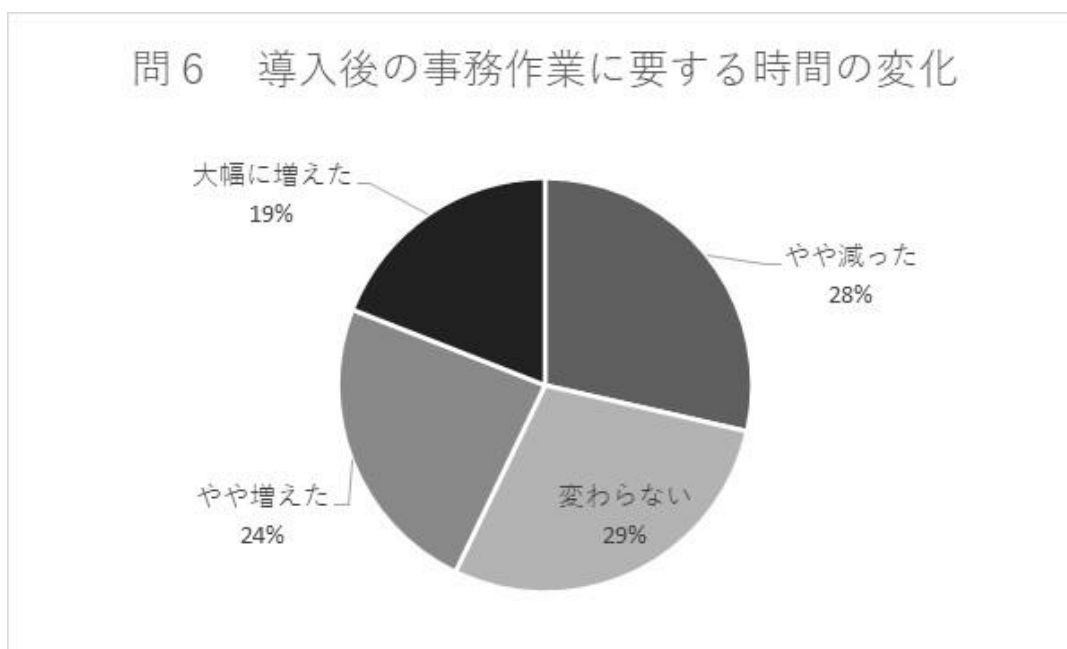
問5 本システムでデータ連携している介護事業所の数を教えてください。※大まかな数で構いません

回答	回答件数
0 事業所	1
1 事業所	4
2 事業所	6
3 事業所	2
5 事業所	2
6 事業所	2
8 事業所	1
10 事業所	2
11 事業所	1



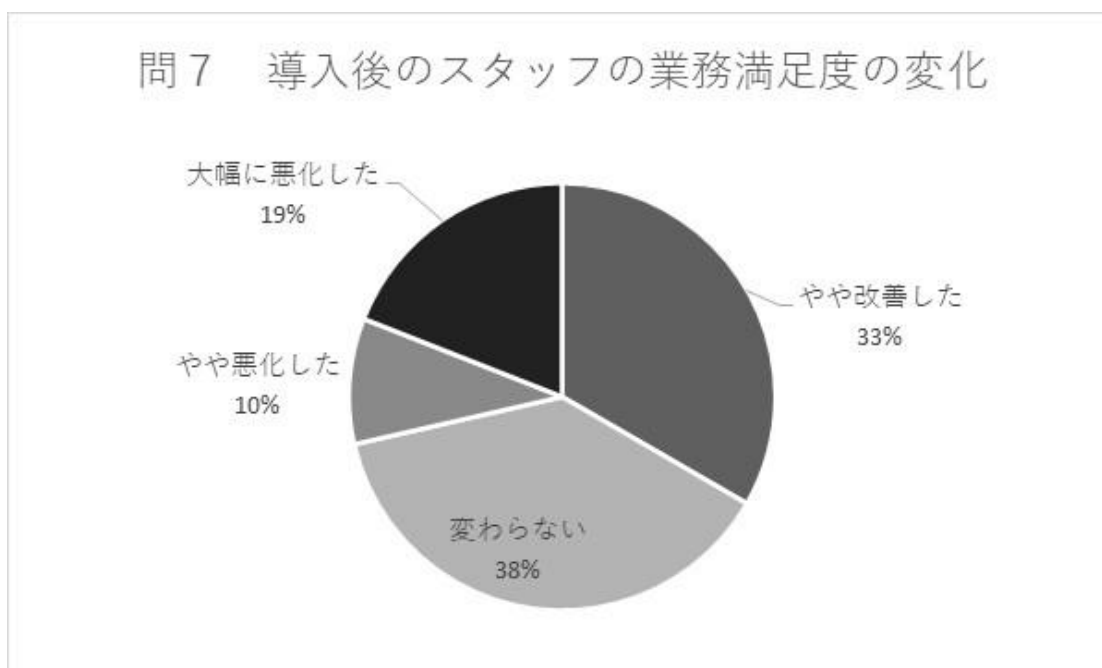
問6 システム導入後、事務作業(記録・関係者への連絡・報告作業)にかかる時間はどの程度変化しましたか？(回答者視点で回答してください)

回答	回答件数
やや減った	6
変わらない	6
やや増えた	5
大幅に増えた	4



問7 システム導入後、スタッフ(職員全体)の業務満足度はどの程度変化しましたか？(回答者視点で回答してください)

回答	回答件数
やや改善した	7
変わらない	8
やや悪化した	2
大幅に悪化した	4



問8 システム導入により、新たに発生した業務や追加されたタスクはありますか？(回答者視点で回答してください)

回答	回答件数
あり	17
なし	4

問9 問8で該当するタスクを選択してください(複数選択可)

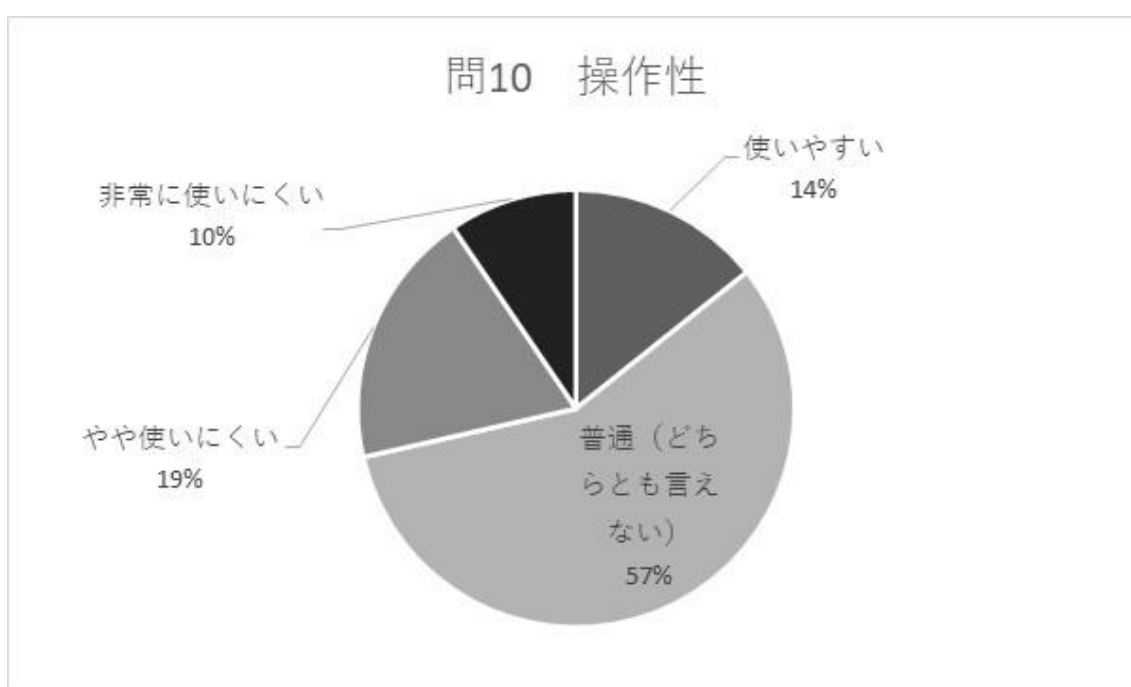
回答	回答件数
システム運用ルール作成・管理業務	5
データ入力の追加作業	16
ベンダー対応・問い合わせ対応の増加	2
関係者への説明・調整業務の増加	11
その他	3

その他の内訳

居宅ケアマネ使いこなせていない(2件)
・福祉用具については半月か一月か電話確認する必要がある。
・双方の入力ミス等について電話確認する必要がある。

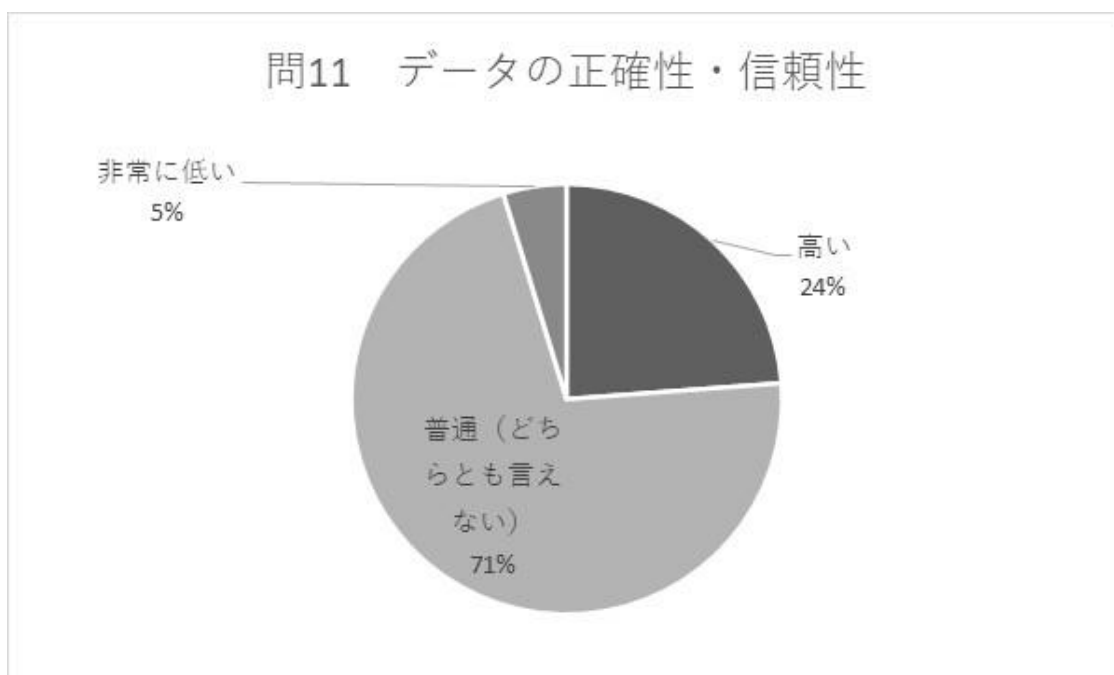
問10 ケアプランデータ連携システムの操作性(画面の分かりやすさ、メニューやナビゲーションの使いやすさ)をどう評価しますか？(回答者視点でお答えください)

回答	回答件数
使いやすい	3
普通(どちらとも言えない)	12
やや使いにくい	4
非常に使いにくい	2



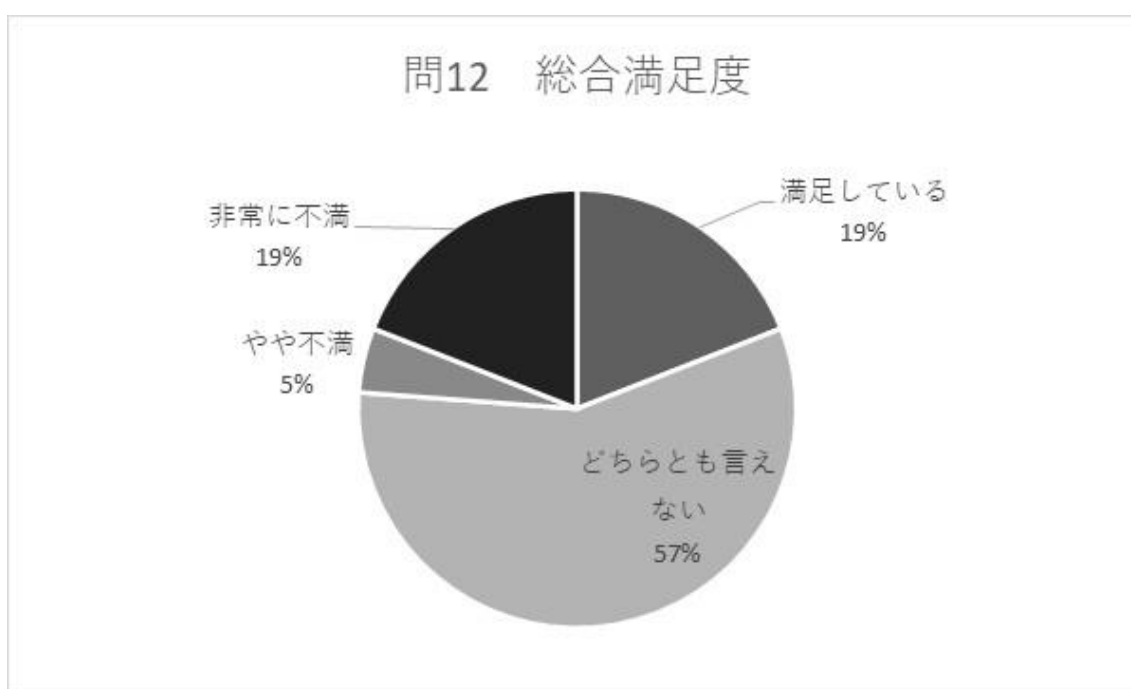
問11 ケアプランデータ連携システムで扱うデータの正確性や信頼性についてどう評価しますか？(回答者視点でお答えください)

回答	回答件数
高い	5
普通(どちらとも言えない)	15
非常に低い	1



問12 ケアプランデータ連携システム全体に対する満足度を教えてください。(回答者視点でお答えください)

回答	回答件数
満足している	4
どちらとも言えない	12
やや不満	1
非常に不満	4



問13 システム導入により、事業所全体の費用(事務費又は人件費等)はどのように変化しましたか？(回答者視点でお答えください)

回答	回答件数
削減した	4
変わらない	16
増加した	1

問14 問13で回答した変化した金額帯(年額)を選択してください

回答	回答件数
5万円未満	6
20万～50万円	1
分からない	1

問15 導入によるコスト面での総合的な影響について補足があればご記入ください

経費の支出が増えたうえで業務効率が悪くなった最悪のケース。
まだ始めたばかりですが、これまでの FAX によるやり方と比べれば、紙を使わなくなるのは確かだと思うので、コスト削減に関しては期待できていると思っています。
まだ数件の事業所とのやり取りですが入力作業が減り休みのミスなども減り助かります。まだ数事業所なので併用していますが関係事業所が多くなればとても良いと思います
当社が居宅サービス事業所のため、実績送付先の居宅介護支援事業所がケアプーを導入していないと、ケアプーによる送信と FAX による送信のオペレーションが発生していることがコスト削減につながっていないが、地域による導入が進めば、データ連携は大いに紙の削減・郵券代や FAX 費用の削減・人件費の削減に貢献できると考えます。
また、今回は導入費としてフリーパスの補助がありましたが、これがないと大規模事業所では、上記理由から費用対効果はゼロに近いと思います。
現段階では件数が少なく効果的ではないが、長期的に見れば有効だと思います。
紙ベースでの出力が減ったこと、ファクスでの送受信が減ったことが、主なコスト減となったが、大幅な削減には至っていない印象。
非常に優秀で、業務が効率化するのであれば、コストは特に問題にしない。
現場の声が全く反映していないと感じる現在の連携システムには全く魅力を感じない。
実績を確認するにも、各請求ソフト・各事業所からの情報で違いがあり、利用実績を確認するにも非常に見づらく、チェックのミスが無いよう、注意を払う必要があり、精神的な負担ともなっている。

問16 ケアプランデータ連携システムをご利用になって、直面した主な問題点をお選びください。(該当するものをすべて選択)

回答	回答件数
システムの動作が遅い(レスポンスの遅さ)	1
データの正確性に疑問がある(誤り・不一致)	2
ログイン関連の不具合・認証の問題	4
画面・UI が分かりにくい(操作が直感的でない)	2
他システムとの連携が不十分(フォーマット違い等)	10
入力項目が多く入力負担が大きい	5
必要な機能が不足している(機能面のギャップ)	6
サポート対応が遅い・不十分(問い合わせ対応)	2
その他	5

その他の内訳

特になし
DETAの何が送られてきているかがまだ慣れておりません。
採用しているソフトの兼ね合いで業務的に作業が増えている。また不具合もあり今後のアップデートに期待したい
慣れれば問題ないと思います。
複数端末での運用に制限があるため、先に受診したパソコン以外に取り込めないことや、システム用フォルダを経由しなければならないこと。

問17 記の問題を踏まえ、改善してほしい点や優先度の高い要望があればお書きください。

<p>ケアプランデータやカイポケなど、居宅支援事業所ごとに使用しているシステムが違う。ケアプランデータに連携しない居宅からの月毎モニタリング報告要望があるため実勢はケアプランデータで報告、モニタリングはFAX送信を行っている。二度手間。以前はFAXだけで実績とモニタリング報告を行っていたがケアプランデータを採用している事業に対してはわざわざFAX以外にケアプランデータ報告処理をしなくてはならなくなった。</p>
<p>ログインするために毎回、IDとパスワードを2回入れないといけないのが不便だと感じます。 連携データがアップされていても通知がないようなので、手動で新着がないかを確認しなければならぬように感じます。</p>
<p>まだ開始したばかりなので今は、特になし</p>
<ol style="list-style-type: none">1.システム間によるインターフェース解釈の相違がないようにして欲しい。2.ログイン事業所ごとに送受信履歴が確認できるようにして欲しい。3.1台のPCで複数の事業所番号を送受信できるようにして欲しい。(可能ではあるが推奨されておらず、実施すると2.が課題となってしまいます)4.添付書類も自動振分機能が使用できるようにして欲しい。(送信書類は実績だけではない)
<p>従来のアナログ対応とデータ連携作業が並行しており、業務の二重化が事務担当を圧迫している。行うのであれば一斉に行ってほしい。</p>
<p>現時点では特にありません。</p>
<ul style="list-style-type: none">・データ連携システム自体の問題ではないが、各社介護ソフトとの連携の手間が発生してしまう。・他の事業所ともデータでのやりとりを希望したいが、導入していない事業所が多いため、結局は紙ベースやファクスでの送受信が多くなってしまう。
<p>ケアプランデータシステムを根本的に見直して欲しい。普段使うメールやラインなどと操作性を合わせるか、ケアプラン・提供票・アセスメント等の書式などの統一化を検討など考えはいくらでもある。業務の効率化を図る事が目的であれば、書類の削減が1番かと思う。質の確保を目的として、業務が増えるごとに、1番大切な利用者との関わる時間が削られていく。やりたい業務からやらなくてはいけない業務となった事で、介護の仕事の魅力がどんどん無くなって行っている。介護ソフトとは別にログインは手間が増えている。まずは介護ソフト業者と綿密に調整を図り、誰でもわかるような簡単なシステム連携を図ってから利用を促すことが良いと考える。</p>
<p>多くの事業所が利用することで、実績入力などの事務入力の時間が削減され負担が軽減する。他のカイポケやカナミックなどともデータ連携が可能ないようにしてほしい。</p>

3. クロス集計

問5と問6

		導入後の事務作業に要する時間の変化			
		やや減った	変わらない	やや増えた	大幅に増えた
データ連携の相手先数	0		1		
	1			1	3
	2	2	2	1	1
	3			2	
	5		2		
	6	1		1	
	8	1			
	10	1	1		
	11	1			

問5と問7

		導入後のスタッフの業務満足度の変化			
		やや改善した	変わらない	やや悪化した	大幅に悪化した
データ連携の相手先数	0			1	
	1		1		3
	2	2	3		1
	3	1	1		
	5	1	1		
	6	1		1	
	8	1			
	10	1	1		
	11		1		

問5と問12

		総合満足度			
		満足している	どちらとも言えない	やや不満	非常に不満
データ連携の相手先数	0		1		
	1		1		3
	2	2	3		1
	3		2		
	5	1	1		
	6	1		1	
	8		1		
	10		2		
	11		1		

4. アンケート結果に対する分析

ケアプランデータ連携システムに関するアンケート結果から、導入の期待と現状の間にギャップがあることが明らかになりました。多くの事業所が「業務効率化」や「コスト削減」を目的とするも、導入後「事務作業の増加」や「スタッフの業務満足度低下」を感じる声が多く、約 8 割が追加業務の発生を報告しています。

主な課題は、他システムとの連携不足(フォーマット違い)、必要な機能の欠如、入力負担の大きさ、操作性の悪さなどが挙げられています。システムそのものの完成度や使いやすさに対する評価は「普通」あるいは「不満」が多数を占めています。

クロス集計では、データ連携の相手先数が少ない事業所ほど、事務作業の増加、業務満足度の低下、総合的な不満といったネガティブな傾向が顕著です。これは、連携先が少ない状況ではシステムが単なる手間として認識され、メリットを感じにくいことを示唆しています。反対に、連携先が増えるほどポジティブな意見が増える傾向が見られました。

これらの結果は、ケアプランデータ連携システムが本来のメリットを享受し、真に業務効率化や介護サービスの質向上に貢献するためには、より多くの関係事業所が共通して利用する「皆が使うこと」が不可欠であることを強く示唆しています。現状では、先行導入事業所が負担を負い、連携メリットを得られていないケースが多く見られます。システムの機能改善も重要だが、それらは全員がシステムを共通基盤として活用して初めて真価を発揮すると考えられます。